

**模擬課題研究発表会(1年総合自然科学科)**

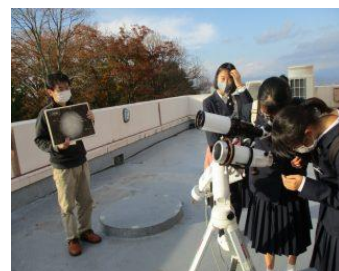
11月24日(火)6～7限に、1年総合自然科学科の生徒が、模擬課題研究発表会を行いました。生徒にとっては初めての発表会であり、ペットボトルロケットの飛距離に関する研究の成果を、パワーポイントを使って発表しました。生徒はやや緊張しながらも発表を行い、質疑応答においても丁寧に対応していました。12月以降は、自分たちでテーマを決めて研究を行い、3月には発表会を行う予定です。

**県総文自然科学部門研究発表会**

11月7日(土)兵庫県総合文化祭自然科学部門の研究発表会に参加しました。自然科学部は、ポスター発表・口頭発表共に「微酸性電解水を活用した人工種子の開発」をテーマに発表しました。絶滅危惧種サギソウの種子を共生菌に依存せずに発芽させることを目的とした研究です。審査の結果、奨励賞を受賞しましたが、全国大会・近畿大会の出場には届きませんでした。兵庫県の各部の研究レベルは年々上昇しており、代表校の全国大会の活躍を期待するとともに、すぐれた実験方法や分析方法を参考にし、龍野高校自然科学部もレベルアップしたいと思います。

**令和2年度サイエンス校外実習Ⅱ(1年総合自然科学科)**

11月20日(金)～21日(土)の2日間にわたり、1年総合自然科学科40人が、サイエンス校外実習Ⅱに参加しました。初日の午前は、SPring-8大型放射光施設とSACLAで、午後は、兵庫県立西はりま天文台で研修を行いました。SPring-8では概要説明、見学、講演を実施しました。担当者の説明を受けながら、世界一の研究施設を間近で見学でき、その後の講演では、龍野高校の卒業生であるエンジニアの方からも話を聞くことができました。西はりま天文台では、講師の説明を受けながら、なゆた望遠鏡などの観測機器を使い、太陽や星などの天体観測を行いました。夜の班別実習では、雲の多さに悩まされましたが、雲がなくなった短時間に、満天の星空を観察することができました。また、班によっては早朝にも観測を行いました。今回の実習を通して、科学への探究心が非常に高まりました。今年、コロナの影響を受けましたが、研修施設やバス会社、本校ともに、十分な対策を行うことで、無事に実習を終えることができました。

**数学・理科甲子園**

11月21日(土)甲南大学で開催された数学・理科甲子園に選手として2年生6名が、また、ボランティアとして1年生2名が参加しました。結果は、健闘及ばず予選敗退となりましたが、選手6名ボランティア2名一生懸命に頑張ってくれました。

